

生物多様性民間参画グローバルプラットフォーム 第1回会合

主催

生物多様性条約事務局、経団連自然保護協議会、環境省、IUCN(国際自然保護連合)

○日時:2011年12月15日(木)9:30~16日(金)12:15

○場所:経団連会館2階 「経団連ホール」(15日)、「国際会議場」(16日)

プログラム

(敬称略)

[第1日目] 15日(木)

■開会挨拶

経団連自然保護協議会会長 大久保 尚武
環境省自然環境局長 渡邊 綱男
生物多様性条約事務局 吉中 厚裕

■本グローバルプラットフォーム会合の目的と構成

IUCN日本プロジェクトオフィス シニアプロジェクトオフィサー 古田 尚也

■ビジネスと生物多様性条約に関するこれまでの動き

生物多様性条約事務局 デビッド・スチュアマン

■パネルセッション1 各国におけるビジネスと生物多様性の取り組みの現状と課題

各国の既存のビジネスと生物多様性に関する取り組み関係者によるプレゼンテーション

パネリスト:

カナダ:カナダビジネスと生物多様性協議会 事務局長 レグ・メラソン
フランス:オリイ協会 会長 ギセイン・イエルソ
ドイツ:生物多様性グッドカンパニー マネジング・ダイレクター キャロライン・ボスマイヤー
日本:経団連自然保護協議会企画部会委員 澤田 澄子
(キャノン株式会社コーポレートコミュニケーションセンター社会文化支援部部長)
ブラジル:ライフ・インスティテュート コミュニケーションアナリスト ビアンカ・ブラジル
インド:インド政府環境森林省 生物多様性条約担当局長 ヘム・パンデ
韓国:韓国政府環境省 主任研究員 ムーン・クワンゲー
オランダ:オランダ大使館 オノ・ルイス
ルワンダ:グレートエイプトラスト コーディネーター マデレイン・ニラトウサ
モデレーター:生物多様性条約事務局 デビッド・スチュアマン

■パネルセッション2 各国におけるビジネスと生物多様性の取り組みの現状と課題

各国の既存のビジネスと生物多様性に関する取り組みに関する議論と質疑応答

パネリスト: パネルセッション1と同様

モデレーター:ドイツ GIZ 環境政策プログラム長 エドガー・エンデルカイティス

■ABS 名古屋議定書に関するインフォメーションセッション

ABS 名古屋議定書実施ファンド(NPIF)の概要

スピーカー:地球環境ファシリティ自然資源局上席生物多様性専門官 渡辺 陽子

モデレーター: 一般財団法人バイオインダストリー協会

生物資源総合研究所技術顧問(前所長) 炭田 精造

■パネルセッション3 企業の取り組みと政府の政策

企業による取り組みの紹介と政府関係者によるディスカッション

パネリスト:

三井物産株式会社環境・社会貢献部社有林・環境基金室室長 赤間 哲

大成建設株式会社環境本部環境計画部環境計画・アセスメント室長 高橋 一郎

ブリジストン・アメリカ 環境部長 ティモシイ・エー・ベント

株式会社ブリジストン環境戦略企画部環境戦略ユニットリーダー 稲継 明宏

ペトロブラス 生物多様性コーディネーター アナパウラ・ラモス・デ・アルメディア・
エ・シルバ

インド政府環境森林省 生物多様性条約担当局長 ヘム・パンデ

モデレーター: 経団連自然保護協議会企画部会長兼政策部会長 石原 博

(住友信託銀行企画部社会活動統括室審議役)

■パネルセッション4 ビジネスと生物多様性を統合するためのツール・メカニズム

関連の会議の成果の紹介と質疑応答

パネリスト: UNEP-WCMC(国連環境計画世界自然保全モニタリングセンター)

プログラムオフィサー クロエ・ストレベンス

モデレーター: 生物多様性条約事務局 ラビ・シャルマ

■パネルセッション5 COP10以降の実施レビューとCOP11への提言

COP10以降のCOP10決議に関する実施状況レビューとCOP11における勧告に関する議論

パネリスト:

経団連自然保護協議会企画部会長兼政策部会長 石原 博

(住友信託銀行企画部社会活動統括室審議役)

環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性施策推進室長 牛場 雅己

UNEP-WCMC(国連環境計画世界自然保全モニタリングセンター)

プログラムオフィサー クロエ・ストレベンス

生物多様性条約事務局 ラビ・シャルマ

モデレーター: インド政府環境森林省 生物多様性条約担当局長 ヘム・パンデ

第1日目 閉会

[第2日目] 16日(木)

■挨拶

生物多様性条約事務局長 アフメド・ジョグラフィ

■2日目の議事の紹介

IUCN日本プロジェクトオフィス シニアプロジェクトオフィサー 古田 尚也

■パネルセッション6 ビジネスと生物多様性イニシアチブの今後とグローバルプラットフォームに向けて

国別の取り組みの地域レベル、グローバルレベルへのスケールアップに関する取り組みの現状と議論

パネリスト:

南アフリカ政府 環境省 キルベン・ナイカー

アセアン生物多様性センター プログラム開発スペシャリスト

フィリベルト・エー・ポリスコ・ジュニア

IUCN インド事務所 プログラム・コーディネーター イシュワール・ナラヤナン

欧州委員会 環境局生物多様性ユニット ポリシー・オフィサー トマス・コーツ

世界海洋協議会 事務局長 ポール・ホルス

生物多様性条約事務局 吉中 厚裕

モデレーター: 生物多様性条約事務局 ラビ・シャルマ

■パネルセッション7 COP11における関連行事

COP11 の概要やビジネスと生物多様性に関する関連行事に関する情報提供やアイデアに関する議論

パネリスト:

生物多様性条約事務局 ラビ・シャルマ

インド政府環境森林省 生物多様性条約担当局長 ヘム・パンデ

WBCSD (持続可能な発展のための世界経済人会議)

生態系フォーカスエリアコアチーム 共同議長 高城 武

(株式会社日立製作所 地球環境戦略室 サステナブル(環境)マネジャー)

モデレーター: 環境省自然環境局生物多様性地球戦略企画室長 奥田 直久

■閉会挨拶

IUCN 地域理事 小池 寛治

インド政府環境森林省 生物多様性条約担当局長 ヘム・パンデ

閉会